



TITLE:

[亀田治メモランダム
]Memorandom1 (KDD本社) : 1974年
6月14日-1975年6月30日

AUTHOR(S):

CITATION:

[亀田治メモランダム]Memorandom1 (KDD本社) : 1974年6月14日-1975年6月30日. CIAS discussion paper No.29 : <東アジア地域研究モノグラフ・シリーズ> 亀田治メモランダム(旧KDD同軸海底ケーブル建設事業覚書) 2013, 29: 7-37

ISSUE DATE:

2013-03-31

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/228555>

RIGHT:

© Center for Integrated Area Studies (CIAS), Kyoto University

Memorandum 1

(KDD 本社)

1974 年 6 月 14 日～1975 年 6 月 30 日

1974 年（昭和 49 年）

6 月

- 14 日
(金)
- ・ 海底線建設本部 技術部長の発令.
 - ・ 郵政省電監室, 監理官, 参事官に挨拶廻り.
 - ・ 研究所にて挨拶.
- 15 日
(土)
- ・ 研究所にて資料等整理.
- 17 日
(月)
- ・ 研究所室長会で挨拶, 次長会.
 - ・ 夜, TPC 開通 10 周年, 副社長招宴.
- 18 日
(火)
- ・ 研究所にて, 整理.
 - ・ 中込副所長に事ム引継.
- 19 日
(水)
- ・ 本社へ着任.
- 20 日
(木)
- ・ 役員会にて, 沖縄陸揚局工事の打合せのため New York に職員派遣する件につき説明, 了承を得る.
 - ・ NK 方式分科会 14:00~.
 - ・ 沖縄陸揚局起工式.
 - ・ 弘報室より TPC 建設に関する NHK ラジオの電話インタビューの依頼あり.
- 21 日
(金)
- ・ 日中業務専門家会議 (第 3 回) の出席者からの報告会.
 - ・ NHK ラジオ電話インタビュー, 編成局前田氏より連絡のあと, 秋山アナウンサーと事前打合せ (午前), 午後 2:40 より約 10 分間, 新 TPC につき話す.
 - ・ 海建本部打合会. 14:00~.
 - ・ 夜, 志村取締役招宴.
- 22 日
(土)
- 週休.
- 24 日
(月)
- ・ 局所長会議.
 - ・ 技術部 次長, 課長と今後の仕事の進め方, 体制について協議.
 - ・ 局所長への社長招宴.
- 25 日
(火)
- ・ NTT へ異動の挨拶.
 - ・ 北原技師長, 緒方総務理事 (不在), 山内技術局長 (不在), 前田次長, 山本施設局長 (不在), 興次長, 清水計画局長, 小口研究開発本部長 (不在), 海外連絡室長など.
 - ・ 局所長会議個別会議. 16:40~.
- 26 日
(水)
- ・ 海建本部連絡会.
 - ・ 局所長会議最終日, 副社長挨拶.
 - ・ 日中ケーブル関連.
 - ・ 対業者, CS-5M 仕様説明, (海, 業務部主催). 14:00~16:00.
 - ・ 新川元常務送別会, (研究所主催), 飯田橋会館.
- 27 日
(火)
- ・ 東北大学 佐藤教授 来訪.
 - ・ 50 年卒業生の KDD 応募の件: 急で学生の方も決心がつかぬため見合わせるようになったと

のこと。

- ・7月にURSI シンポジウム(London)へ出席されるとのことで、大島常務よりのせん別を渡す。
(秘書課、内山秘書役扱い)。
- ・八芳園にて、研究所、元主管研究室による歓送会に出席。
- ・総合開発センタ和田技術開発担当部長より Tel.
現在、有シ研で等化関係の開発に従事中の増山君の扱いについて。

- 28 日
(金)
- ・志村取締役のところへ、松田次長とともに、苓北陸揚局建設に関する役員会資料作成につき打合せ。
 - ・永田課長と日中ケーブルの電氣的布設の諸設備発注計画につき協議。
 - ・NK 海底同軸合同委員会 (第 5 回)、於パレスホテル。15:00～17:30。
 - ・分科会委員も交え、懇親パーティ。

- 29 日
(土)
- 研究所に行く。
- ・所長に日中ケーブル建設に伴ない、研究所の協力を依頼、とくに、システム設備および工程管理に関し、適任者を異動させること、および、電氣的布設に専門家の助力を要することを説明。基本的に、協力は当然のことと考えるが、具体的には関係次室長とも協議のうえ考えたい旨返答あり。なお、鍛冶次長にも同様の主旨を伝え、追って具体的に協議することとする。

7 月

- 1 日
(月)
- ・今後の作業計画の検討
- 2 日
(火)
- ・OCC にケーブルの検査状況を視に行く。
 - ・WE Co, Mr. Andreasen, Mr. Henkel と会う。
ケーブルの検査データをもらう件について了解を得る。
Mr. Andreasen 他 1 名は、8 月～9 月に日本を去るとのこと。
 - ・中川調査役から検査要員の問題をきく。
- 3 日
(水)
- ・海建本部連絡会。a.m. 10:00～12:00。
 - ・夜、千代田電機星沢氏、電通大武井教授と会食懇談。
- 4 日
(木)
- ・苓北陸揚局局舎建設の役員会資料の作成につき松田次長と協議。
- 5 日
(金)
- ・部長会出席。
- 6 日
(土)
- 午後より、CBC Summer Party に出席のため、日光へ行く。
- 7 日
(日)
- ・参議院選挙。
- 8 日
(月)
- ・新宿国際通信センター完工披露。
- 9 日
(火)
- ・役員会資料作成 (苓北陸揚局局舎建設)。

- 10 日 ・ 研究所へ行き、新宿へ送るため資料を整理、コンテナに詰める。
(水)
- 11 日 ・ 午前、要員関係打合せ。(海・本部、技術要員関係)。
(木) ・ ECL, 秋丸氏(情報部長)に Tel. .
 電子学会、東京支部見学会に関し打合せ。
- 12 日 ・ 部長会なし。
(金) ・ 海建本部 連絡会。15:00 ~17:00。
 ・ 吉田課長より、CS-5M のカップリング試作費を開発費として中国側に請求することの困難性につき、説明あり：日中ケーブルの機材発注後に試作ができるため、矛盾を生じること。業務部、経理部とも協議する(実情は以上の通りだが、開発費として中国に請求はする)ように指示。
- 13 日 ・ 永田課長、青柳、嶋谷君から、日中ケーブルの電氣的布設用設備について検討状況の報告あり。使用ケーブル種別により、布設回数とケーブル接続場所がどのようになるか具体的検討を指示。
- 15 日 ・ 苓北陸揚局局舎建設の役員会審議は、経理部で設備計画の見直しについて次週 23 日に役員会へかけるので、それと一緒にかけるよう鶴岡取締役より要望されたと志村取締役より連絡あり。
(月) ・ 経理部主催、設備計画の見直しについての説明会。
- 16 日 志村取締役より。
(火) 社長より、苓北陸揚局の宿舎について、苓北に 2 軒でもおけないか、(1. 保全上。2. 地元との融和上。3. 経費節減上。)検討を指示された。
- 17 日 ・ 海建本部 連絡会。
(水) ・ 経理部案の設備計画の修正に基き、苓北局の建設計画の見直しを進める。
- 18 日 ・ 経理部に苓北局の建設計画の修正を提出。
(木) ・ 高呂氏歓迎会。
- 19 日 ・ 部長会。
(金) ・ 志村取締役に苓北局建設の役員会審議を 8 月 1 日に延ばすことの下承を得る。
 ・ 午後、新宿移転のため、整理、梱包。
 ・ 研究所 Beer Party.
- 20 日 ・ 永田課長より、電氣的布設の役員会資料の説明を受ける。
(土) ・ 午後、研究所にて、新川杯ブリッジトーナメント。
- 22 日 ・ 本日より新宿センターにて執務。
(月) ・ 志村取締役に苓北陸揚局、電氣的布設の役員会資料検討状況を説明。
- 23 日 ・ 保全部長、保三課長に苓北陸揚局の建設にからみ、要員問題の検討を進める必要のあることを説明、今後の協力を依頼。
(火) ・ 相模工大、大久保教授に Tel. , 除却測定器の払下げの件。
 ・ 日中ケーブルのケーブル種別を決めるため、今後の作業の進め方につき、吉田課長、石井調査役らと協議。
 その一環として、木下課長らより、埋設調査結果の報告をきく。

- 24 日 (水) ・ 苓北陸揚局役員会資料につき、志村取締役、副社長に説明、8月1日にかけることを了承する。
・ 13:50 羽田発 北海道札幌出張。(通信学会 49 年度全国大会)。
- 25 日 (木) ・ AM 特別講演。
・ PM1:00～、有線通信 B 座長。
・ 夜、懇親会に出席。
- 26 日 (金) 学会。
- 27 日 (土) 学会。
16:45 札幌発。
- 29 日 (月) ・ 社長に苓北陸揚局建設に関する役員会資料を説明、了承を得る。
・ 日中ケーブルのケーブル種別選定について、関係者と討議。
・ 日中ケーブルに関する業者からの proposal の検討結果の報告をきく。
・ 電氣的布設の役員会資料について関係者と討議。
・ 中野朝安氏より、小池さんの紫綬褒章の授賞候補すいせんについて、手紙くる。
- 30 日 (火) ・ 日本電子部品信頼性センターの第 1 回評議員会に出席。
以後は笹本研究所長と交替する。
・ 大手町診療所に寄る。
・ 要員問題について。(松田次長)。
職員部としては、10 名の配員を当面考えているとのこと。
これを、技術 2、線路 3、施設 3、海洋 2 と配員する：了承。
- 31 日 (水) 本部連絡会
- 8 月**
- 1 日 (木) ・ 苓北陸揚局の局舎建設について、役員会へかけ、了承を得る。
・ 技術部会用資料作成のため、技術各課と打合せ。
・ 松下技研、中野朝安氏来訪。
小池勇二郎氏の紫綬褒章の授賞候補としてすいせんを依頼さる。
- 2 日 (金) ・ WE Co, の Mr. Andreasen, Mr. Henkel 来訪。
新宿センタービルの見学、志村取締役へ表敬 後、32F で昼食。
・ (財) 日本電子部品信頼性センターの評議員会出席報告を志村取締役、大島常務に行なう。
・ 海建委技術部会：14:00～。日中間海底ケーブル業務専門家会議の対処方針のうち、技術分科会関係について。
・ 業務部会：15:00～17:00。同上対処方針の審議、業者の見積書の提出方式に対する中国の意見とそれに対する回答の方針について。
- 3 日 (土) 休暇
- 5 日 (月) ・ 社長室小関課長に、小池勇二郎氏の授賞候補すいせんの件、日本電子部品信頼性センターの件など処理を依頼。
・ 海建本部連絡会。10:00～12:30。
・ 電子通信学会東京支部見学会の対象調査。

道路交通管制システムについて、警察庁岡本交通調査官にきく。

- 6 日
(火)
- ・小関課長より。
小池氏の叙勲について、郵政省の関係者にきいた所、一般の叙勲と異り、紫綬褒章はそれ程うるさくない、功績調書を出せばよい、その中に KDD 関係の業績を挙げ、その点を KDD に了解を求めればよいのではないかと、大島常務あての書信でも出してもらい、社長室（総務課）で処理する。
中野氏にその旨 伝える。

=====

添付：8/6 付メモの内容：

KDD

小関 社長室 審議担当 1

347-7677

郵政省 叙勲関係

紫綬褒章は一般の叙勲程うるさくない。

功績調書を出せばよい、その中に KDD 関係の業績をかけばよい、その際、KDD に了解を求める、例えば、大島常務あて Letter で。

- ・どこの役所を通すのか。
 - ・誰が世話をやいているのか。
- =====

- 7 日
(水)
- ・織田部長と、日中ケーブルの国際入札提案（中国からの）に対する回答につき、志村取締役の説明。
 - ・OCC 滝鼻取締役、笠原営業課長 来訪。
 - ・ケーブル資材の値上りで、西独—スエーデン、中中、TPC 等は赤字である。
 - ・日中ケーブルは、無外装であれば、工期も楽である、外装では鉄線の手配と値上がりで苦しい。
 - ・ソ連から引合いで、NEC が CS-5M 560nm を propose している。
 - ・A1 ケーブルについては、郵政省に協力し、資材を出している。
 - ・適当な時期に（1976 年頃か）ライン（主として Core ライン）を増したい。
生産量が 5 割は上る、工期の短縮を発注者も希望するので、増ラインを実現するつもりである。
 - ・1.7" ケーブルの製造設備を考えている、なお NTT では 2" or それ以上の大口径ケーブルの製造を望んでいるが、設備投資が 150~200 億にのぼり、それに見合う受注が期待できないと、実施は無理である。
 - ・研究所鍛冶次長より。
新納君が本社への異動を承諾した、代りの者を考えてほしいと連絡あり、了承する。
 - ・有シ研全員による歓送会あり。

- 8 日
(木)
- ・OCC 鳴海常務、来訪。
 - ・電子通信学会東京支部役員会、機械振興会館。17:30~。

- 9 日
(金)
- ・吉田、石井両君から、A1 ケーブル開発に関し、郵政に求められて行なった予算作成上の作業につき説明を受ける。
 - ・富士通 斎藤（二郎）氏と懇談。

- 10 日~13 日
- ・夏休み

- 14 日
(水)
- ・苓北陸揚局の要員について、社長室（審議担当 1 課）主催の打合会に出席。

- 15 日 (木) ・ 警察庁岡本氏に Tel. , 学会東京支部見学会は、NHK 放送センターの見学希望が多いため、
道路交通管制システムは次の機会にしたい旨伝え、了解を得る。
・ 相模工大大久保教授より依頼の、除却測定器等譲渡の件。
清水業務部次長を通じ、資材部より、整々社に申し出てもらい、整々社から本社への協議
を受けて処置したいと連絡あり。
大久保教授に伝える。
・ 志村取締役にて電氣的布設用設ビの準備手配についての役員会資料説明。
- 16 日 (金) 二宮海底線中継所 出張。
海底ケーブル方式の技術講演(日中間海底ケーブルの技術的諸問題)。
- 17 日 (土) ・ 電氣的布設用設備手配の役員会資料につき、永田、江幡両君と協議。
- 19 日 (月) ・ 海建本部連絡会。(AM 10:00~)。
・ 夕刻より、埋設機実験視察のため、小林部長とともに、鹿島海岸に出張。
- 20 日 (火) ・ 鹿島海岸にて、埋設機の実験を見る。
- 21 日 (水) ・ 東北大 佐藤(まり)教授 来訪。
石川君と昼食、古橋取締役、有竹常務の室へ案内。
・ 中国より、業ム専門家会議のため、9月上旬に来日するとの連絡入る。
- 22 日 (木) ・ 午前、CS-12M 分科会。
開進委に対する報告の審議。
・ 午後、日中間業ム専門家会議に対する準備打合せ。
業ム部、技術部、建設部、資材部で、日程と、業務、技術各分科会間の調整など。
- 23 日 (金) ・ 海底線建設委員会。
・ 日中間業ム専門家会議対処方針。
・ 第 2TPC の分担金(沖縄陸揚局関係)。
・ 電氣的布設用設ビの準備手配。
- 24 日 (土) 週休
- 26 日 (月) ・ 海建本部連絡会。(午前)。
・ 東北大 KDD 同窓会。
- 27 日 (木) ・ 郵政省電監室にて、A1 ケーブル開発のための準備打合せ。(10:00~11:30)。
OCC 滝鼻氏、NTT 福富氏、KDD 亀田、(総企)小林課長。
・ 日中間業ム専門家会議の技術分科会関係の役員会資料作成。
- 28 日 (水) ・ 開進委に対する CS-12M 分科会報告の作成打合せ。
開技 高橋、研 中井、海建 木下など。
大体の文案、構成を決める。
・ 社長、副社長に、役員会提出資料(日中間業ム専門家会議対処方針、および電氣的布設用
設備の準備手配)の事前説明。
・ 鈴木欽也君来訪：調 3 号埋設機の話など。

- 29 日
(木)
- ・役員会にて、日中間業務専門家会議の対処方針（案）を織田業ム部長と共に説明、了承を得る。
 - ・夕刻、苓北へ出張。
全日空熊本行にて、熊本着、木下課長と落ち合う。
- 30 日
(金)
- ・木下課長と熊本県庁 企画開発部、交通計画課、農政部へあいさつ。
広域農道建設に、事業調整ヒがついたとの話あり。
本渡へ向い、県为天草事ム所へあいさつ。
苓北へ向い、町役場を訪れたのち、富岡の宿舎に着く。
- 31 日
(土)
- ・町役場、漁協へあいさつ。
陸揚地点の視察後、三洋水路測量 松崎専務と、天草下島の海岸を車で見て廻る。

9 月

- 1 日
(日)
- 朝、苓北を発ち、熊本から 空路東京へ帰着。
- 2 日
(月)
- ・海建本部連絡会。
 - ・志村取締役、要員問題につき、職員部長との話し合ったことを報告。
 - ・郵政省電監室 水内参事官 来訪。
CS-12M 方式の開発における、体制、進み方等につき説明。
 - ・日中ケーブルの建設費につき、長計 15 号と現状との照合を行なう。
- 3 日
(火)
- ・役員会にて、電氣的布設用設備の準備手配につき説明、了承を得る。
 - ・天草における広域農道建設のため、事業調整費がついた件で、郵政省 佐瀬参事官を訪問、その促進方に対し謝意を表す。
 - ・午後、新技術開発推進委員会。13:30～17:30。
12MHz 方式分科会の報告を行なう。
- 4 日
(水)
- ・午前、埋設工法開発打合会。9:30～12:00。
KDD 志村取締役、和田、小林、亀田、各部長他。
KCS 広島専務、江副取締役。
 - ・午後、富士通小山工場へ出張。
船上溶接封止装置の開発状況を見る。
- 5 日
(木)
- ・日中ケーブルの業者からの proposal と KDD 仕様書との差異についての検討：永田、徳江、高崎、細谷君ら。
- 6 日
(金)
- ・午前、郵政主催 A1 ケーブルの開発推進のための予備打合（吉田課長出席）。
 - ・要員問題について、線路課長らと協議。
 - ・中国より、9/12 発 9/14 東京着の電文来る。
- 7 日
(土)
- 週休
- 9 日
(月)
- ・埋設工法の第 2 段階開発の推進について、役員会資料を作成。
志村取締役に同行し、副社長、社長に事前説明し、役員会へかけることの手承を得る。
 - ・海建本部連絡会。16:30～17:30。
 - ・衆院通信委（10 日午前）における質問の回答準備。（沖縄におけるケーブル陸揚に関する質問が出る予想―質問者 土橋委員）。

- 10 日 (火) ・ NTT 施設局副島伝送課長に、設備計画における物価上昇率の見込値について問い合わせ、北爪部長（総企室）に伝える。
 ・ 通研 南氏 来訪。（二宮中継所見学の件で松田次長のところへ来訪）。
 等化工法関係者と昼食。
 ・ 防衛庁中摩氏（池尻 技術本部技術部長）より Tel. ，海底ケーブルの布設について。
 ・ 富士通 斎藤二郎氏 来訪。
 西独—スウェーデンケーブルの布設工事の見学希望については、① KDD からの見学は富士通としては歓迎する。② 乗員数に制限があるので、1 名にしてほしい。③ KDD が自費で来ることを望む、とのこと。これに対し、未だ先のことであるし、その頃、日中ケーブルが忙しく人を出せるかどうか分からない、今のところ、可能性を確かめただけと理解してもらいたい、と返事。
 ・ 研究所道下次長と、信学会米沢賞すいせん候補の件等 打合せ。
- 11 日 (水) ・ 米国—ホンジュラスケーブル計画に関する、ATT Mr. Tuttle から志村取締役あての来信について、志村取締役から、メーカーへ問い合わせ後、返電を打つよう指示あり。
 ・ 研究所 中込次長に Tel. ，学会費値上げの調査に関する件。
 ・ 日中ケーブル 業務専門家会議に対する準備打合せ。15:00～。
 海建本部、資材部。
- 12 日 (木) ・ KDD 同友会懇親会。15:00～16:30。
 ・ KCS 江副部長より、埋設工法の第 2 段階開発に当り、① 修理工法に関する船首改造費、② 総合訓練費の増額の希望あり。
 現段階で計画額をこれ以上増すことは好ましくなく、内容を見ると実施段階で適宜処理できるように思われるので、計画は変更を加えず、におくことで了解を得る。
- 13 日 (金) ・ 米国フロリダー—中米ホンジュラス間ケーブルについて、日本の方式も考慮したいとの ATT の意向に基づき、メーカーに inquiry を ATT から出すための、information を送るべく手配、夕刻 TLX 発送。
 ・ 総企室藤原部長より、回線統制システムの第 2 部会（監視設備関係）に技術課長をメンバーとして出してほしいと要請あり、了承。
 ・ 通研 田畑室長より、Tel. .
 1. CCITT の Green Book に supplement として、Cable Ship の list があるが、KDD は KDD 丸をこれにのせるよう contribution を出すことを考えていないか、NTT で目下、津軽丸、黒潮丸を出すかどうか検討中とのこと。
 2. 郵政の A1 ケーブル開発推進のため、予備調査資料の作成を割当てられた。
 #3 ケーブル方式の将来動向。
 #9 ケーブル方式の具備すべき機械的、電氣的条件。
 CS-12M 海底中継方式の通研所内資料（成果報告 NO. 8583）を資料として出したいが、この資料を KDD に送るので検討してほしい。
 ・ 埋設工法開発関係者の慰労パーティ。
- 14 日 (土) ・ 日中ケーブル第 3 回業務専門家会議の準備打合せ。
 志村取締役、織田業務部長。
 ・ 同会議の中国代表団を羽田で出迎え、19:50. JAL62.
- 16 日 (月) ・ 敬老の日のふりかえり休暇。
 ・ ホテルニューオータニにて、中国代表団と昼食。
- 17 日 (火) ・ 日中ケーブル第 3 回業務専門家会議始まる。
 午前、表敬 後、議題、日程の協議。

発注に関する基本的問題が折合わず、休会。

- 18 日
(水) ・発注に関する問題について、社内検討。
技術関係は併行して、業務と別に審議する様提案。
・前日、中国代表団は富士通を訪問、その模様を富士通山崎部長他が説明に来る。
・夜、副社長招宴。
- 19 日
(木) ・役員会にて、埋設工法の第2段階開発について伺い、了承さる。
・日中業務専門家会議 再開。
・午後より、技術分科会を併行して開く。
- 20 日
(金) ・技術分科会に出席。
・夜、成城梅組同窓会。
- 21 日
(土) ・技術分科会。(9:00~11:00)。
業務関係は開かれず。
午後より、中国代表団は、2つに別れ、関西と、荅北に旅行。
- 24 日
(火) ・日中ケーブル業専、技術分科会。
ケーブル、ルート関連の討議。
- 25 日
(水) ・日中、業専、技術分科会。
システム設計書の討議、議論併行し、1時中断。
志村取締役と対策協議。
・住商 上田氏 来訪。
・F 斎藤(二郎)氏より、米国-南米間のケーブル計画引合いに関する情報あり。
- 26 日
(木) ・総合開発センター 和田部長と CS-12M 方式開発実施計画の役員会提出に関し、協議。
・日中、業専、技術分科会の進め方につき、SPT 王、袁氏、KDD 志村、亀田で協議、明日より再開することとなる。
- 27 日
(金) ・日中業専、技術分科会の討議再開。
システム設計書、ケーブル構成等の討議。
- 28 日
(土) ・引続き、技術分科会。
電氣的布設設備の審議。
- 30 日
(月) ・中国側の都合(午後 NEC 訪問)で午前中のみ 技術分科会。
・午後、技術分科会での問題点の整理のため、技術部、建設部 関係者間で打合せ。

10 月

- 1 日
(火) ・日中業専技術分科会。
本日より、2班で仕様書の検討。
中国側が午後富士通訪問のため、午前中のみ会議。
・志村取締に技術分科会の状況報告。
・総合開セより、高橋、杉本、山下3名借役。
・夜、研究所合気道部 坂口、樽松、武田、東、初見君らと懇談。
- 2 日
(水) ・技術分科会：仕様書の検討を継続。
・技術課長と、システム設計書の問題点とその処理について協議。

- 3 日
(木) ・日電、富士通より単独見積り書が提出され、KDD、中国両者でこれらを受け取る。
・午前、有シ研 中井、新納、若林君ら来て、遮蔽ケーブルの適用基準に関する検討結果を説明、本社側とともに討議。
・昼、上記3名と昼食。
- 4 日
(金) ・N、Fよりの単独見積り書の検討を日中とも別個に行なうため、会議はなし。
・今後の発注問題に関する中国との討議方法につき、社内関係者間で打合せ。
・中国との技術的討議に関する今後の進め方につき、次・課長らと協議。
- 5 日
(土) ・日中業専技術分科会。9:30～17:00。
・これからの討議予定。
・中継器、等化器の仕様書審議を行なう。
- 7 日
(月) ・日中業専技術分科会。9:30～18:00。
・日程の協議。
・システム構成の討議で、ほぼケーブル数量を決める。
- 8 日
(火) ・日中業専技術分科会
発注数量を決めるための討議。
端局関係、業者提出資料表、予備品、付属品等。
・午前、役員会に、和田部長に同行出席。
CS-12M方式(49年度)の開発実施について、了承を得る。
- 9 日
(水) ・日中業専技術分科会。
・遮蔽付ケーブルの遮蔽効果と適用表。
・ケーブル、中継機等の数量につき討議、合意。
・業者提出資料表の討議。
・午後より、業務分科会の要請で、契約書作成に必要な技術分科会での討議、検査、据付工事、要員訓練等。
- 10 日
(木) ・体育の日
SPTの連中を鎌倉へ案内。
- 11 日
(金) ・中国側代表団が、今後の進め方につき、内部で協議したいとのことで、日中間の会議なし。
・新技術開発の進め方につき、開進委で新しい方向を検討するため、各プロジェクトリーダーの意見を求められる。
技術開発担当和田部長とCS-12M方式の開発プロジェクトの進め方について協議。
・夜、東北大同窓会東京支部総会に出席：霞ヶ関ビル 東海クラブ。
- 12 日
(土) ・日中間会議なし。
・東北大 野口、木村教授来訪、大泉教授の学術会議立候補に対する応援について。
・日中業務専門家会議の次週以降の討議日程につき、社内討議。
(志村取締役、海建本部 業ム・技術、資材部)。
- 14 日
(月) ・日中業専技術分科会。9:30～11:30。
・〃 業務分科会。14:00～17:00。業者接衝の進め方の討議。
- 15 日
(火) ・日中専・技術分科会。9:30～17:00。
業者提出の技術提案書をKDD/SPT仕様書に照合し、差異につき討議。
- 16 日 ・業者との技術接衝の資料準備のため、技術分科会なし。

- (水) ・午後、業務分科会に出席。15:00～17:00。
N, F 両社より、単独見積りの詳細説明が個別にあり。
- 17 日
(木) ・日中ケーブル用設備に関する対業者技術接衝。10:00～17:00。
仕様書等の説明を行ない、これによる業者からの技術資料、価額見積りの提出を発注数量、要求。
・SPT と工事計画の協議方法につき打合せ、明日の議題とすることとする。
- 18 日
(金) ・技術分科会。9:30～12:00。
・SPT は午後、KDD 丸にて埋設機見学。
・午後、業務分科会から、製造業者、商社を呼び、通告。
15:00～、N, F 両社に共同応札を採ることを通告。
16:00～ 三井、朝陽の両商社に、二社を選んだことを通告。
・電子通信学会東京支部役員会に出席。17:30～19:30。
- 19 日
(土) ・SPT は富士通に行き、技術分科会なし。
・午後、埋設部会：13:00～19:00。
埋設工法の開発の進め方等につき討議。
- 21 日
(月) ・SPT 古河電工千葉工場へ行き、技術分科会なし。
・第4回当事者会議、技術専門家会議の予定につき、業ム部長、志村取締役と協議。
・永田課長、徳江補佐と、電氣的布設に関する作業に対し、研究所からどのように協力を求めるかにつき協議。
- 22 日
(火) ・中国代表団、ビザの滞在延期手続きのため、午前中会議なし。
・業者より、端局据付工事ヒの見積書が出され、A 局について、KDD のみ、業者から説明を受ける。
・午後の業務部会にて、上記を報告。
・社長室より、24 日の衆院通信委にて沖縄陸揚地に関する質問が予想されるので、その答弁資料作成の依頼あり。
- 23 日
(水) ・建設日程と完成時期につき、SPT 王氏と会談（KDD 側 志村取締役、亀田）。
・午後、技術分科会。
- 24 日
(木) ・技術分科会。
午前、希望納期、測定器の討議のほか、OCC から検査に関する問題点をきく。
午後、業者から中継器、等化器、端局の仕様に関する意見提出、据付工事の見積（B 局分）、予備部品の信頼度に関する資料の提出あり、説明をきく。
- 25 日
(金) ・技術分科会。
午後 14:30～17:00。
・日中ケーブル関係会議の開催予定案を作成。
・富士通営業、B 局据付工事費の修正案を持参。
- 26 日
(土) ・志村取締役と王建中氏と今後の会議日程に関する会談に同席。
日程案を説明。
- 28 日
(月) ・相模工大 大久保教授に Tel. , 測定器の払下げは、希望通りになったとのこと。
山根需給課長にお礼の電話をする。
・午後、KDD/SPT 技術分科会、工事に関する打合せ等。

- | | |
|-------------|---|
| 29 日
(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・午後、KDD/SPT 技術打合せ。 |
| 30 日
(水) | <ul style="list-style-type: none"> ・午前、SPT と技術関係打合せ、技術会議の日程等。 ・午後、公開施設の視察に通研へ行く。
夜、通研 線路会。 |
| 31 日
(木) | <ul style="list-style-type: none"> ・上海市郵電管理局長より、副社長あて、技術専門家会議の開催について来電。
(10 月 30 日付)。 ・午後、業務分科会に出席、価額問題、議論併行す。(夜 7:40 まで)。 |
| 11 月 | |
| 1 日
(金) | 休暇
うずしお会コンペに参加。 |
| 2 日
(土) | <ul style="list-style-type: none"> ・上海にて開催の第 2 回技術設計専門家会議の役員会資料作成。 ・副参事 管理記録 提出。 |
| 4 日
(月) | 振替え 休日。
同門会ゴルフコンペ。 |
| 5 日
(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・非管理者、及び 3 類・4 類管理者、管理者記録 提出。 ・副社長に、日中ケーブル技術専門家会議出席の役員会資料説明。 ・総企室 関次長、日ー比ー香港ケーブルの技術専門家会議の件、16 号長計に対する将来プロジェクトののせ方の件で協議に来る。 |
| 6 日
(水) | <ul style="list-style-type: none"> ・社長に役員会資料の事前説明。 ・海底ケーブル建設準備事務所に関する、社長室（文書課）主催の打合会に出席。 ・午後、CS-12M 統括班 打合せ：FT 終了後の処置について。 |
| 7 日
(木) | <ul style="list-style-type: none"> ・役員会に、“日中ケーブル技術設計専門家会議の開催ならびに出席について” 資料説明：了承を得る。 ・日中ケーブル、中継器関係 業者打合せ、(第 1 回)。 ・業務分科会に出席：契約書に対する業者意見の聴取（午前）。
：上記に対する日中間協議（午後）。 |
| 8 日
(金) | <ul style="list-style-type: none"> ・午前、業務分科会に出席：契約書の審議。 ・午後、技術分科会：契約書附属書の内容を審議し、固める。 ・副社長名で、SPT 副局長へ、技術設計専門家会議に関する写真電報発信、出席者名を通知。 |
| 9 日
(土) | <ul style="list-style-type: none"> ・前記 写真電報発信につき、志村取締役へ報告。 ・執務月報（9、10 月分）作成。 |
| 11 日
(月) | <ul style="list-style-type: none"> ・中国側と契約書に対する業者側意見の審議。10:00～12:30。
午後、付属書について審議。15:00～17:30。
業務側と付属書について協議。18:00～22:30。
業務会議で、価額契約額 決定。(36 億円)。 |
| 12 日
(火) | <ul style="list-style-type: none"> ・朝、王、袁両氏 志村取締役を訪問：付属書について、再び修正意見を申し出る。 ・11:30、外務省にて旅券申請、木下課長同行。 ・学会東京支部見学会（NHK 放送自動化システム）にて、あいさつ。14:00。 |

- ・埋設部会 欠席。
夜，三井物産の招宴。
 - 13 日
(水)
 - ・午前，埋設部会。
 - ・業務専門家会議報告書に，予備機材に対する確認を加える。
 - ・夜，中国側の招宴。
 - 14 日
(木)
 - ・付属書 に対する修正意見が，SPT より再び出る。
 - ・契約書調印。
 - ・外務省に旅券をとりに行く。16:30。
 - 15 日
(金)
 - ・部長会に出席。
 - ・海底線建設準備室に対する建設本部内打合せ。
 - 16 日
(土)
 - 週休
 - 技術課レク旅行（綱代）に参加。
 - 18 日
(月)
 - ・午前，社長室（文書課主催）と沖縄工事事ム所設置に関する打合せ。
 - ・午後，有楽町へ種痘に行く。
 - 19 日
(火)
 - ・日中技術専門家会議の準備打合せ。
 - ・埋設部会。13:30～。
 - ・日中技術専門家会議の対処方針を役員会へかけることとなり，副社長に事前説明。
 - ・熊本県庁 島田，徳永両氏 来訪，広域農道建設予算の陳情について。
 - 夜，招待。
 - 20 日
(水)
 - ・OCC と日中用ケーブルの製造打合せ。
 - ・午前：埋設部会。
 - ・社長に，役員会資料の事前説明。
 - ・日中技術専門家会議の準備打合せ。（出席者間）。
 - ・小林（見）部長より，沖縄要員についての協議あり。
 - 21 日
(木)
 - ・役員会に，日中技術設計専門家会議の対処方針をかけ，了承を得る。
 - ・会議資料の準備。
 - 22 日
(金)
 - ・部長会，に出席。
 - ・会議資料の準備。
 - 11 月 25 日～12 月 4 日
第 2 回技術専門家会議に出席のため，上海に出張。
 - 12 月**
 - 5 日
(木)
 - ・午後出社。
 - ・帰着の報告を社長，副社長，志村取締役に行なう。
 - 6 日
(金)
 - ・第 4 回日中海底ケーブル会議の日程について，業務部清水次長と協議。
 - ・塚田課長（総企，海プロ担当）から，要員計画に関する総企室での審議状況をきく。
- | | 50 年度 | 51 年度 | 52 年度 | 53 年度 | 54 年度 |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 海沖縄 | 8+3 | +4* | | +2 | |
| (施設要員) | 共通要員 | | | | |
| 苓北 | | 7 | +1* | | |

		(施設要員)	共通要員		
	本社	—8	—7	—18	—14
	(技術要員)				
	・午後、海建本部連絡会.				
7 日	週休.				
(土)					
9 日	・郵政・電監室にて、A1 ケーブル開発費の分担に関する打合せ。(午後).				
(月)	受益者負担の立場から、民間も負担し、官民協力の体制で開発を進めることにして大蔵省に予算要求をしたいとの郵政側説明に対し、KDD は協力することとなる.				
10 日	・沖縄、苓北の中継所の要員について、社長室主催の関係部長間打合せに出席.				
(火)					
11 日	・埋設部会。(午後).				
(水)	・郵政・電監室より、A1 ケーブル開発企画の作成に対する協力の慰労宴に招かれる.				
	水内参事官と懇談.				
12 日	・副社長より、「衛星通信による教育」の問題に関する資料を求められ、ALOHA 計画、CAI				
(木)	(Computer Assisted Instruction) 等の資料をまとめる.				
	・役員会にて、日中ケーブル第2回技術専門家会議(上海、11/26~12/3)の報告を行なう.				
	・夕刻より研究所へ行き、難波さんの叙勲祝賀パーティに参加.				
	石川、小関、新堀君らと懇談(むら).				
13 日	・部長会に出席				
(金)	・第4回日中ケーブル会議の対応方針案.				
	日ービー香港ケーブル Working Group 会合の対処方針案(総企室作成)を吉田、石井君と検討				
	・永田課長、矢口、小林君らから、CS-5M 中継器部品の高信頼度化作業工程の承認を求めるメーカーからの資料について説明報告を受ける.				
14 日	週休.				
(土)					
16 日	・本部連絡会				
(月)	第4回日中ケーブル会議の対処方針案の検討.				
17 日	・中国に対する技術情報の開示に関する問題の検討.				
(火)	・永田課長、江幡主任から、電氣的布設作業のための KDD 丸改装案(KCS 検討)の説明報告を受ける.				
18 日	・午後、研究所長を訪ね、日中ケーブルにおける技術情報の提供に関し、とくに電氣的布設				
(水)	のソフトウェアについて、関係者を交え協議.				
	・研究所としては、絶対に出しては困るということはない.				
	・これに対し、適当な対価を求めることに賛成する.				
	・適当な対価に対する算定のため、今迄の開発経費を見積る.				
	・日本郵船杯 Br. に出席.				
19 日	・海建委資料の準備.				
(木)	・海上保安庁水路部 川上部長以下と海建本部関係者間の懇談会に出席.				

- ・永田、徳江両君と懇談.
- 20 日 ・海底線建設委員会.
(金) ・沖縄ー比ー香港ケーブル会議の対処方針.
 ・日中海底ケーブル会議（第4回）の対処方針
- 21 日 週休、川越.
(土)
- 23 日 ・副社長に「CAI 技術の動向」を原田秘書を通じ届ける.
(月) ・海建本部連絡会（14:00～）.
 沖縄ー比ー香ケーブルとアルミケーブル開発との関連が論議.
 ・東大海洋研 奈須所長と懇談、木村常務以下.
- 24 日 ・役員会にて、第4回日中ケーブル会議の対処方針について伺い、了承を得る.
(火) 同日、沖縄ー比ー香ケーブル計画に関する KDD/ETPI/C&W 会合の対処方針（総企室）.
 沖縄海底線工事事務所の設置（社長室）の案件が審議さる.
- 25 日 ・日電 本郷氏来訪、ソ連からの海底ケーブル引合いのため、訪ソし技術的打合せした
(水) 件の報告あり.
 ・ATT Mr. McCullough あて、ハワイーグロムケーブル布設における LL 号乗船に関し、KDD
 からの要員削減の通報を TLX で出す.
 ・技術部 忘年会.
- 26 日 ・中国 SPT あて、システム第3次設計書（第2稿）を送付.
(木) ・埋設部会.
- 27 日 ・総企室 関次長より、明年1月の KDD/ETPI/C&W 会合に、技術からも参加した方がよいとの
(金) 増田常務の意向があるので、適任者について考慮してほしいと話しあり、了承.
 ・研 中井有シ研究室長 来訪、通研での CS-12M 開発（高信頼度部品）が終了し、資料が渡され
 たと報告あり.
 明年、NK 方式分科会で正式受理とすること、開進委で報告するための資料をつくること
 を考えるよう指示.
 ・OCC 斎脇氏 来訪：日中ケーブル関係、アルミケーブル開発などにつき懇談.
 ・NEC 斎藤氏 来訪：香港ケーブルについては、N, F 間で話し合って、6/4 で協力し、N がメ
 インになろうとの話あり、cost について、STC 側の情報取得を依頼.
 ・北原文書課長：沖縄海底線工事事務所の設置について、あとは職員部が発令等について検
 討することとなる、その辺を打合せる.
 ・夜、石井君より自宅に Tel. あり、KDD/ETPI/C&W 間の香港会合へ随行することとなったと
 の報告あり.
- 28 日 仕事納.
(土)

1975 年（昭和 50 年）

1 月

- 4 日 (土) ・ 仕事始めの式.
- 6 日 (月) ・ 織田, 小林両部長らと郵政, NTT へ新年の挨拶廻り.
・ 海建本部 連絡会議. (15:30~).
- 7 日 (火) ・ ハワイグロム間ケーブル布設に対する KDD 職員の LL 号乗船の件につき, 役員会資料を作成し, 副社長, 社長へ事前説明.
・ 電通大 松崎教授 来訪.
学生への一般教養教材として, ケーブル, 衛星の映画フィルム借用の依頼.
広報室 望月社員を紹介し, 資料を提供, 便宜を図る.
・ NTT 横浜都市管理部 米沢部長に Tel. .
竹川氏より依頼の越ヶ谷局電話の件につき, 調査を依頼.
加入者ケーブル工事のため, 2 月下旬~3 月下旬との話し.
・ 横須賀通研石田氏に Tel. .
伝送同門会 GC の件, 箱根湯の花に決め, 3 月 23 日(日)をとる.
・ 沖縄海底線工事事ム所要員について, 打合せ. (取締役, 小林部長, 阿部課長).
- 8 日 (水) ・ CS-12M 海底中継器高信頼部品の技術資料関係で, 通研 田畑室長に Tel. .
次のような見解を得る.
1. 中国に対しては, とくに新規の開発は今回はないので, 適宜示してもよい.
2. 開発は KDD の委託により行なったので, KDD に渡したあとは, KDD の自由でよい.
3. 発表公開については, とくに考えてないが, 部品関係者とも発表形式を協議する.
未だ評価試験を継続中のものもあるので, 時期は, 6 ヶ月位先になろう.
これに対し
1. 中国へ出した情報については, 次回 方式分科会で報告する.
2. 中国との技術情報の取扱いの協定に基き, 「第 3 者との共同開発」の線で処理する.
ことを述べ, 了解を得る.
・ 日大鶴岡教授来訪.
- 9 日 (木) ・ 役員会に, 「ハワイグロム間海底ケーブル敷設への職員の派遣」について伺い, 了承を得る.
・ 技術部 次課長と, 日中ケーブル会議における「技術協力の討議」に対する基本方針を打合せ.
また, 苓北中継所の要員削減に伴ない, 通信機械設備における対策をどのように考慮すべきかを協議.
- 10 日 (金) ・ 部長会に出席.
・ (海) 幹部会. (役員, 部長間打合せ). 14:30 ~17:00.
- 11 日 (土) 週休
(海) 技術部若手 13 名 自宅へ来訪.
- 13 日 (月) ・ (海) 幹部会の発足に伴ない, 技術部内打合せ会の定期開催につき, 次・課長と協議.
毎週月曜日午前に, 調査役以上で開くこととする.
・ 中国に対する技術協力の基本的考え方につき, 海建本部内で協議 (10:00~12:30).
・ 石井・高崎君の海外出張歓送昼食会.
・ 事業計画の組合説明に対する基本方針の打合せ (社長室主催). (14:00~16:30).

副社長，関係役員，関係室部長．

新聞切抜「苦しい時こそ心構えが大切——菅野社長年頭あいさつ要旨」(略)

- 14 日 (火) ・第4回日中間海底ケーブル会議に出席の SPT 代表団を羽田空港に出迎え．
・中国代表団の KDD 表敬の席に列席．
・夜，代表団の副社長招宴．
- 16 日 (木) 第4回日中間海底ケーブル会議開催．
午前，全体会議． 午後より技術分科会． 14:00～17:30．
以降，会議に出席．
- 17 日 (金) 技術分科会 システム第2次設計書の協議， 検査関係の協議
- 18 日 (土) " (午前のみ) 第3次設計書の協議
- 20 日 (月) " 同上
- 21 日 (火) " 同上 部品関係の工場視察の協議
- 22 日 (水) " 同上
- 23 日 (木) " 同上
- 24 日 (金) " 1975 年作業計画 技術協力の予備討議
- 25 日 (土) " (午前のみ) 同上
- 25 日(土)午後～26 日(日)
熱海への遊覧案内．
- 27 日 (月) 全体会議．(午前 10:00～ 12:00) 第2次設計書 確定
技術分科会 (午後のみ) 訓練，技術協力など 主要項目の討議を終る．
部品製造工程表の対メーカー打合． (15:30～ 18:00)．
夜：建設費概算について社内検討 (18:30～ 22:00)．
- 28 日 (火) 業務分科会 (午前のみ) 建設費概算 KDD/SPT 工場視察実施．
海底線建設委員会(第18回)． (15:00～ 17:30)．
- 29 日 (水) 石井君より，沖－比－香港ケーブルに関する香港会議ミニッツの内容説明を聞く．
- 30 日 (木) 志村－劉 会談 (19:30～ 21:30)． 京王プラザホテルで，終了後，社内検討．
- 31 日 (金) 業務分科会．
- 2 月**
- 1 日 同上 午後，妥協可能項目の社内検討．

(土)

3 日 同上

(月) ・通信学会，通信方式研究専門委，委員を研究所山口室長と交替希望の旨を重井委員長に伝え 了解を得る。

4 日 全体会議 (9:00 ～10:00) 会議要項.

(火) 業務分科会 (14:00～ 17:00).
三井物産等商社，メーカーからの SPT，KDD 招宴.

5 日 ・技術分科会 14:30 ～18:00，開進委あるも，欠席.

(水) 残った問題の協議.
技術協力について説明，討議.
・業務部長と，次回専門家会議の日程，について協議.

6 日 ・技術分科会. 9:30 ～12:00.

(木) 残った問題の協議.
・第2次設計書，会議要項の署名. 14:00～.
・SPT 代表団からの招宴.

7 日 ・志村取締役，織田部長と，次回専門家会議の日程について協議.

(金) 3月31日(月)出発，4月1日から約2週間の会期とする案をSPTに示すこととする.
・SPT 代表団 離日，羽田空港へ見送りに行く.
・夕刻，海建本部関係者の慰労会合.

8 日 週休，研究所コンペに参加.

(土)

10 日 ・熊本県庁より，天草広域農道の建設予算の関係省庁への説明のため，県庁関係者に先ず KDD

(月) から早期必要性の説明をしてほしいと要請あり(松田次長受)，今週後半に行くこととする.
・日中ケーブル会議の役員会報告資料の準備. (2/13. 報告予定).
・OCC 神奈川製造所(出田町)にて，外装ライン，ケーブルタンクの新設備等を視察.

11 日 祝日

(火)

12 日 ・副社長，社長へ，第4回日中ケーブル会議の役員会報告の事前説明を織田部長と行なう.

(水) ・能力開発課 村越君と，沖縄における業ム知識講座について打合せ.
3月3日～6日に沖縄へ行くこととする.

13 日 ・役員会に，第4回日中ケーブル会議の報告を，織田部長と共に行なう.

(木) ・午後，織田部長と郵政電監室 佐瀬参事官を訪問，上記会議の報告.
・郵政・電監室主催 A1 ケーブル方式の開発体制に関する準備打合せ. (小関，吉田課長出席).

14 日 ・通研 石田調査役 来訪：同門会コンペの打合せ等.

(金) ・海建本部幹部会.

17 日 ・横須賀通研 松浦 海洋通信研究室長 来訪

(月) ・住友商事 上田部長に Tel. ，鶴岡氏より依頼の件.
・新 海底同軸ケーブルの開発計画に関する社内打合せ. 15:20～16:15.
副社長，以下関係役員，部長出席. (社長室主催).

- 郵政省への KDD 意見に関する審議.
- ・石井君に命じ、沖－比－香港ケーブルに対する日本方式の建設計画線表を作成。
(総企室より、郵政への説明資料とする予定).
- 18 日
(火)
- ・朝、木村常務のもとで、A1 ケーブル開発の分担に関する郵政省案を検討（志村、亀田、吉田、小関）.
 - ・志村取締役より、
 - ・沖－比－香ケーブルの次回 Working Group 会合について、増田常務が郵政省と協議された結果.
 - 1. 次回会合期日を C/W 提案の 3 月 17 日から、4 月へ延ばすことを日本は提案する.
 - 2. 検討資料として、次のものを早急に作成する.
 - 1) 沖－比区間の日本方式による構成案.
CS-5M d 12M について銅ケーブルでどうなるか.
システム建設価額の算定をこれにより行なうが、業者への問い合わせは、慎重に行なう要あり.
 - 2) C/W との交渉に用いる資料として、比－香区間の CS-12M 方式の構成案.
これは、無外装ケーブル、埋設とし、14M 方式、A1 ケーブル、外装との価格比較に利用する.
- 以上の資料の早期作成の指示あり、吉田、石井両君に以上を伝え、資料検討を指示.
以上の件は関係者以外、秘とすること. (A1 ケーブル開発事項との関連のため).
- 19 日
(水)
- ・松田次長より.
天草における、農道の建設費に関連して、出京中の苓北町長、町議会議長らが、NTT の同軸伝送路の建設計画の変更の可能性を問題にしているとのこと.
NTT 関係者と協議のため、社内関係部門と協議するよう指示.
 - ・富士通 小山工場に出張.
海底中継器の製造工場の拡張後の状況を視察.
- 20 日
(木)
- ・吉田課長より、小関課長とともに昨日郵政にて、アルミケーブル開発分担に関する KDD 意見を述べた模様の報告あり. 志村取締役、木村常務にも報告. 了承を得る.
 - ・業ム知識講座の講演原稿作成.
- 21 日
(金)
- ・都内積雪 15cm.
 - ・業ム知識講座の原稿作成.
- 22 日
(土)
- ・吉田課長より、昨 21 日郵政で行なわれた、アルミケーブル開発分担に関する関係各社間の打合せ状況の報告あり.
 - ・石井君より、沖－比－香ケーブルの方式構成案の報告を受ける.
- 24 日
(月)
- ・午前、技術部内連絡会：調査役 以上.
 - ・午後、日中ケーブル用国内伝送路建設に関する打合せ会を主催.
出席：社長室長、伝送施設部 富田部長、次長、伝送課長、海建本部 三部長、松田、阿部.
 - ・志村取締に沖－比－香の CS5M, 12M による System configuration およびその機材費概算を説明.
福治部長も来席し、今後の業者引合いにつき協議.
- 25 日
(火)
- ・志村取締に、広域農道およびその伝送路建設上の問題点を説明.
NTT に伝送路建設に対する考え方を、農道建設状況の説明と併せてきくことを検討することとする.
 - ・午後、埋設部会.

- 26 日
(水) ・ 木村常務に、沖－比－香のケーブル方式構成の検討結果を説明。
・ 広域農道伝送路に関し、志村取締役、富田伝送施設部長と、NTT 山本施設局長を訪問、NTT の考え方をきく。
・ 沖－比ケーブル機材の業者引合いについて、総企、福地部長と打合せ。
- 27 日
(木) ・ 沖－比ケーブルに関する業者引合いについて、志村取締役、木村常務に資料説明。
・ 午後、技術部、建設部間で、日中ケーブルの布設計画に関する打合せ。
- 28 日
(金) ・ 沖－比ケーブルの引合いのための予備的協議を N, F と個別に行なう。
N: 関本取締役、F: 新堀取締役、K: 志村取締役、亀田。
・ N は、東南アケーブルについて、主導的立場をとって F と協力するとの、N, F 幹部間の話し合いが 2 年前にあった。
・ 布設工事は可能である。N の場合、Mr. Waldic に工事面を頼むことができる。
・ 納期的に問題はない。普通 2 年、急げば 18 ヶ月。
・ OCC とは個別に志村取締役より、輪かくを示す。
・ アルミケーブル開発に対する、専門委員の問題について、志村取締役と大島常務へ伺う。
研究所から主査を出すことは好ましくない、とくに、研究室長を出すことは、いろいろ問題があろう、海建本部の方がよいのではないか。
・ 本部幹部会。
・ 福地部長に、沖－比ケーブル引合いに関し、メーカーと予備協議を行なったことを報告。

3 月

- 1 日
(土) ・ 海建本部ゴルフ コンペ。(志村杯)。
- 3 日
(月) ・ 沖縄、熊本 出張。
午後、沖縄通信事業所、沖縄報話局を視察。(総務課長案内)。
壺川社宅を見て、ポートホテル 泊。
- 4 日
(火) ・ 通信事業所会議室にて、業務知識講座の講演。10:00～12:00。
・ 午後、技術課長の案内で、南部戦跡、玉泉洞、知念海岸などを廻り、その間、具志頭海岸にて、沖縄陸揚局の建設状況を視察。
- 5 日
(水) 午前、船越調査役の案内で首里王城跡を見学。
空港にて、志村取締役役を出迎え、そのまま、熊本へ向う。
熊本駅にて松田次長と会い、とぎやホテル泊。
- 6 日
(木) 熊本県庁にて、企画開発部幹部と会い、農道建設に関する問題について話し合い、午後、農政部長に日中ケーブル用国内伝送路につき、NTT へ要望した経緯、日中ケーブルの建設進捗状況を説明し、農道建設の促進方を要望。農政部長からは、予算、工期について、かなり困難な点のあることが述べられた。
夜、関係者を招待。
- 7 日
(金) 朝、九州通信局を訪問、長田局長に会い、県庁で前日話した模様の概略を伝え、なお、今後とも充分連絡をとりたい旨を述べる。
午前 11:29 熊本駅発、福岡より空路帰京。
- 8 日
(土) ・ 出社し、吉田課長より、1. 日中ケーブル第 3 回技術専門家会議用資料(施工設計第 3 稿素案)の説明。2. 沖－比－香ケーブルの関係の報告。3. アルミケーブル関係の報告 等をきく。

- ・志村取締役、熊本県庁での打合せ状況を報告。
- 10 日 (月)
- ・(海) 技術部打合せ。(定例)。
 - ・ NEC 本郷部長来訪。
沖一比ケーブルの見積りに関し、とくに、布設工事費、システム設計等の質問あり。
(回答) 1. 海洋調査は KDD で計画、よって見積り不要。 2. KDD による工事は KDD で算定する。 KCS を NEC がサブとする時、NEC で要すると思われる分のみ見積ること。
3. TASMAN の時 C/W が出した工事費を参考にして、KCS 以外を使って工事する時の見積りも可能なら出すこと。
 - ・ 資材部長に、沖一比ケーブル見積りの件につき、協議。資材部長より鶴岡取締に伺って、計画段階であるから、海建本部でメーカーと接渉してよいとの了解を得る。
- 11 日 (火)
- ・ 午前、晴海ふ頭にて、NTT 黒潮丸の見学。
 - ・ 午後、沖一比香ケーブルの建設保守協定 KDD 案の検討。(総企室 主催) 打合会。
 - ・ SPT へ送付するシステム第 3 次設計書第 3 稿の校閲。
- 12 日 (水)
- ・ 通研 石田調査役 伝送同門会のことで来訪。
 - ・ NEC 営業 斎藤(文) 部長 来訪、沖一比香ケーブルの見積りについて。
1. NEC が prime contractor となり、F, OCC を sub とする、工事の面で必要があれば、商社も sub とする、商社を上立てることはしない。
2. 延べ払いの件で通産省へ contact してよいか。
2 については、総企室福地部長と相談し、輸銀の融資条件は輸出上の政策として決まるので、現段階でメーカーから直接通産にきくのは好ましくない。郵政省から通産省へ話すことになっている。
よって、85%に対し、7.5%、5 年と云う、英国と同条件で算定してもらえばよい、と返事することとする。
 - ・ OCC 滝鼻部長ほか 来訪：日中ケーブルで契約した、ケーブル長の問題について話しあり。
 - ・ 志村取締に、新海底同軸ケーブル方式開発の社内体制案について説明。
和田部長ともよく協議するよう指示あり。
 - ・ 人事発令
沖縄工事事務所長など。
日隅調査役 技術部へ。
- 13 日 (木)
- 1. 研究所との連絡打合せ 9:30~12:00。 研 鍛冶、中井、栗原。
協力を円滑にするため、意思疎通を図りたい。
 - 2. アルミケーブル方式開発における中継器開発計画(50 年度分)について、NEC, Fuji と打合せ。13:00~14:45。
・ 設計目標は統一をはかる。
・ 試作数量は各社、ユニット 3 台、増巾器 2 台として経ヒを見積る。
・ 電食、筐体等 NTT の分担開発から生じる回路への影響は、もしあれば早く出してもらう。
 - 3. 海建委(19 回)。15:00~17:00。
日中間ケーブルの第 4 回業務専門家会議、第 3 回技術専門家会議の対処方針案の審議。
 - 4. 中野朝安氏より依頼の小池勇二郎氏の授彰運動について、小松参事、古橋取締に説明、短波送信管の開発について KDD がその設計の指導に与った事実の確認を古橋取締役よりして頂くことのできることを得る。
- 14 日 (金)
- ・ 開発センター 和田部長と、アルミケーブル開発に対する社内体制について協議。
9:30~10:00。
郵政からの委託は海建本部で受け、社内開発については開発センターから、海建本部、研究所に要請することで考えることとする。

- 17 日
(月)
- ・技術部内打合せ（定例）.
 - ・ECL より NEC へ移った田畑氏あいさつに来訪.
 - ・ECL 森下氏（基幹伝送研究部）エコーサプレッサーの使用方法につき回統部十二課長補佐を訪ね、打合せ終了後、来訪.
 - ・日中ケーブル第3回技術専門家会議への出席について事案決定文書作成.
 - ・去る3月6日熊本県庁で行なった農政部との打合せの報告作成.
- 18 日
(火)
- ・新技術開発推進委員会 13:30～ 17:00.
新海底同軸ケーブル方式（A1 同軸ケーブル方式）の開発項目につき、その背景を説明.
- 19 日
(水)
- ・部内監査.
西田部長、里見課長による海建本部技術部の監査に答える.
 - ・A1 ケーブル方式用中継器の開発計画案を3/26日までにMPTに提出するため、NEC, FUJITSU と打合せ。（試作計画、所要経費など）.
 - ・日大鶴岡教授 来訪.
- 20 日
(木)
- ・松下技研 中野技術部長より、依頼の短波送信管開発に関する小池氏功績の certificate につき、古橋取締役の了解を得、その手続きについて社長室と協議.
 - ・公印を必要とすれば、会社として手続きをふむ必要あり、その場合は開発についての証明となるので研究所から起案を出してもらうのがよい。（文書課 補佐）.
 - ・松下技研中野部長に問い合わせたところ、公印でなくでもよい、とのことなので、古橋取締役の名前で出すこととする.
 - ・沖ー比ー香ケーブルの建設保守協定案に対する成蹊大山本教授の意見をきくための、総企室主催打合会に出席. 14:00～16:30.
 - ・NEC 斎藤部長、FUJI 三村次長を伴ない、沖ー比ケーブルの建設費見積りの中間報告に来訪. 再検討して、25日までに適正な案を提出するよう要請.
- 22 日
(土)
- ・志村取締役の要請で NEC 斎藤部長の来訪を求め、見積りについて努力を要請.
 - ・沖ー比沖ー比香ケーブルの専門家会合における技術の terms of reference について、技術課長らと協議. これに関連し、建設を管理する機関のあり方を討議.
- 23 日
(日)
- ・伝送同門会 G. C.
- 24 日
(月)
- ・SPT より、3月22日付で、4月7日より技術、業務専門家会議を開きたいとの来電.
- 25 日
(火)
- ・苓北局建設に伴なう保守体制への準備、および、新海底同軸方式用中継器の開発計画を郵政省へ提出する件について技術課長と協議.
 - ・埋設部会. 13:30～15:30：於 KCS 会議室.
 - ・日中業務専門家会議における建設費概算の対処方針案について、志村取締役、織田部長と協議. (18:00～21:00).
 - ・志村取締役に、郵政から求められている新海底同軸方式用中継器の開発計画案を説明.
- 26 日
(水)
- ・OCC 滝鼻部長、寺西課長 来訪、志村取締役より、沖ー比ケーブル計画のケーブル見積り価額に対する意見を示し、努力を要請. (9:00～10:00).
 - ・NEC 斎藤部長 来訪：沖ー比ケーブル計画の建設費見積りを持参.
志村取締役と共に一層の努力を要望.
 - ・海底線建設委員会. (14:00～17:00).
 1. 沖ー比沖ー比香ケーブルの KDD/C&W/ETPI 会合の対処方針.
 2. 沖縄局海岸のトレンチの追加工事.

3. 日中・業務専門家会議の対処方針.

- 27 日 (木)
- ・第3回技術専門家会議における討議用資料を SPT へ送付.
 - ・ NEC 斎藤部長 来訪：沖－比ケーブルの建設費の見積りのフォーム，内容について協議.
 - ・ CS-XA 方式用中継器の開発計画案を，郵政に説明（3/26）した模様について技術課長より報告あり，MPT からさらに KDD，N，F 間の分担等について案の提出を求められており，その回答について協議.
- 28 日 (金)
- ・ CS-XA 方式用中継器の開発に対する MPT からの協力要請への回答案につき，志村取締役，木村常務に報告，説明：了承を得る.
 - ・ この社内処理については，下打合せの段階なので，関係役員，副社長に説明，了承を得て MPT に出す.
 - ・ 正式に委託が出た段階で，受託について役員会へかける.
 - ・ 社長室と充分打合せておくこと.
 - ・ 海建本部幹部会．14:00～17:30.
 - 日中ケーブル：建設費概算の役員会資料.
 - ・ NEC 関本氏，斎藤氏，沖－比ケーブルの建設費見積りを持参.
 - (1976 年度末時点の価格で算出).
- 29 日 (土)
- ・ 整理
- 31 日 (月)
- ・ 成城 菊池先生 来訪，古田夫人，藤間夫人同行.
 - ・ NEC 本郷部長，鳥丸課長 来訪.
 - 沖－比ケーブル見積りの技術的条件について.
 1. 工事関係：turn key として充分責任を持てるか.
 2. 中継器：12M 用が 5M 用に比し，割高の理由.
 - 経済化には部品の信頼度保証法の見直しも必要と思う．(NEC).
 3. 端局：HFL のみを二重化した．(NEC).
 4. ケーブル：白ジャケットとした，西独－スウェーデンもそうしている．(NEC).
 - ・ 織田部長と共に，社長に日中専門家会議対処方針の役員会議資料を事前説明.

4 月

- 1 日 (火)
- ・ 会社創業記念式典.
 - ・ 記念パーティ，観劇に出席.
- 2 日 (水)
- ・ アルミケーブル方式用中継器の開発計画に関する MPT への回答について，大島，増田，鶴岡各役員に説明，了承を得る.
 - ・ 日中技術専門家会議（第3回）出席者のミーティング．(10:30～12:10).
 - ・ SPT より，ケーブル完成品検査表に対する意見を述べた写真電報来る.
 - ・ NEC 斎藤氏，田辺氏，沖－比ケーブル，比－香ケーブルの見積り内訳持参.
 - 内容不備のため，再検討を依頼.
 - ・ 夜，業務部長，総括課長と懇談.
- 3 日 (木)
- ・ 役員会に，日中ケーブル，業務・技術専門家会議の対処方針を伺い了承を得る.
 - ・ 苓北陸揚局建築工事の起工式（4 月 14 日）に社長出席のため，情況説明に資する広域農道建設状況の資料作成.
 - ・ 昼，石井，日隅両君の昇任・昇格祝，昼食.
- 4 日 (金)
- ・ 日中専門家会議出席者の業務・技術合同打合せ．(10:30～11:45).
 - ・ 郵政省電監室（13:00～15:30）.
 1. 佐瀬参事官に，日中ケーブル専門家会議の対処方針を説明.

- 2. 飯島参事官と、新海底同軸ケーブル方式用中継器の開発計画について打合せ.
 - ・役員、関係部室、KCS に上海出張のあいさつ.
- 5 日 ・ 専門家会議へ持参する資料の整理.
(土) ・ 松田次長に不在中の処理事項につき指示.
- 7 日 9:00 羽田発 上海へ.
(月)
- 8 日(金)～16 日(水)
第 3 回日中間海底ケーブル技術専門家会議.
- 17 日 16:40 上海発. 東京へ.
(木)
- 18 日 ・ 志村取締役役に帰国報告.
(金) ・ 織田部長より預かった建設費概算の協議に関する請訓の書類を清水次長に渡し、志村取締
に説明.
・ 訓令の案文作成に協力.
・ 織田部長へ清水次長から、志村取締の訓令を伝達するのに立会う.
- 19 日 ・ 吉田課長と第 3 回技術専門家会議の報告書につき、協議.
(土)
- 21 日 ・ Ok-Ph-HK ケーブル 打合せ. 9:30～12:00.
(月) ・ KDD/ETP/CW マニラ会合 報告. 志村取締役より.
・ 今後の作業予定. (業ム関係). 塚田課長.
・ 技術部定例打合せ. 13:40～15:30.
・ 日中ケーブル, 技術専門家会議 (第 3 回) の状況.
・ 松田次長, 永田課長より, 諸作業の推渉状況報告.
・ 社長, 副社長に帰国 報告.
- 22 日 ・ NEC 本郷部長, 田畑氏と Ok-Ph-HK ケーブル関係で協議.
(火) 1. 技術的問題で, 打合せをもちたい.
2. turn key にして, 布設工事がうまくできるか.
4/28 に再度打合せることとする.
- 23 日 ・ 伝送施設部主催: 日中国内伝送路の賃借回線数に関する打合せ. (午前).
(水) 松田次長に代理出席してもらう.
・ Ok-Ph-HK ケーブル技術関係 打合せ. 14:30～17:20.
志村取締役以下, 海建本部 主要メンバー, 出席.
tender document の検討, 作成等, 今後の作業予定について.
・ 4/24 開催の参院通信委に対する答辯資料の作成. 18:00～21:30.
・ 日中 第 4 回業ム専門家会議における建設費概算の協議, 合意に達す.
・ 東シナ海における埋設実験 開始.
- 24 日 ・ 日中間, 第 3 回技術専門家会議の役員会報告資料のとりまとめ.
(木)
- 25 日 ・ CS-12M 海底中継器の利得増加につき, 検討経緯を研究所 中井, 湯口両君から聞く.
(金) 0-Ph-HK ケーブルへの適用は時期尚早と判断される.

- ・業務専門家会議の出席者（業務部長以下4名）上海より帰国。
- 26日（土）
 - ・第3回技術専門家会議の役員会報告とりまとめ。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブルの資料検討。
- 28日（月）
 - ・沖－比－香ケーブルの引合に関する業者（NEC, OCC）との打合せ。（13:30～16:30）。
 1. 中継器の利得上昇について。
 2. turn key sase おける引合いの範囲について。
 3. ケーブルジャケットの白ポリエチレン使用について。
 - ・総企室福地部長、（海）業務部長、輸出入銀行へ延払いの問題をききに行く。（海）技術側より、松田次長に同行してもらう。
- 30日（水）
 - ・執務月報、管理記録表作成。
 - ・新納君より、LL 号の布設作業（ハワイグワム間第2次）に参加した模様の報告を受ける。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブルの建設保守協定の説明打合せ 13:30～17:30。
塚田課長より報告と説明。
 - ・日中専門家会議 出席者に対する志村取締役の慰労宴（32F）。
 - ・Mr. Powel より来電。Mr. Bird が来日、とのこと。
- 5月
- 1日（木）
 - ・副参事管理記録表を担当役員に提出。
 - ・C&W Mr. Bird CCITT SGXV 会合（京都にて開催中）へ出席のため来日し、Mr. Powel の手紙と Draft Tender Document を持参。
石井君を派し、羽田空港にて、これを受理。
 - ・Mr. Bird と Draft Tender Document に対する意見交換を5/9に行なうべく手配。
- 2日（金）
 - ・Mr. Powel に 返電。
 - ・志村取締に、上記の件を報告、Mr. Bird との討議の準備打合せを5/7 午前に行なうこと、同日午後、Committee メンバー間の会議をもつこと、5/9 の Mr. Bird 来訪に際しての接待などを打合せる。
 - ・本部内各課関係者と Tender Document の作成、検討方針につき打合せ。
- 6日（火）
 - ・Mr. Bird の持参した Draft Tender Specification を検討。
 - ・富士通 斎藤二郎氏 来訪：金門へ行く相談。
 - ・NEC 斎藤部長来訪：CW の Draft Tender Document について。
- 7日（水）
 - ・午前、9:30～12:00。
 - ・Ok-Ph-HK ケーブル Tender Document 作成方針の打合せ を主催。
志村取締、海建本部、資材部関係者。
 - ・午後、13:30～。
沖－比－香ケーブル、調整委、小委、KDD 代表の打合せ、福地部長同席、今後の進め方の討議。
- 8日（木）
 - ・Mr. Bird との Discussion 準備。
 - ・Mr. Bird 17:00 京都より CCITT 会合を終え、来京。
夜、志村取締の招待（三井ビル、55F.）。
- 9日（金）
 - ・Mr. Bira と CW 作成の Draft Tender Document につき討議。
午前：Part1, Part2, について、支払条件を中心の討議。
午後：Part3 について、技術的討議

- 10 日 (土) ・電子通信学会 東京支部役員会, 総会に出席. 11:50~13:35.
Mr. Powell より, 5 月 20 日より London で会合を開きたいと来電あり.
・Mr. Bird と夕食. (京王プラザ, プルニエ).
- 12 日 (月) ・沖-比-香ケーブル London 会合出席につき, 連絡カードで社長まであげる.
・役員会へ, 出席についてかけ, 対処方針は文書処理するとの方針が出る.
- 13 日 (火) ・役員会に, 沖-比-香ケーブル ロンドン会合出席について伺い了承を得るとともに, 日中
専門家会議の報告を行なう.
・午後, 13:30~.
沖-比-香ケーブル Tender Document につき, メーカーと打合せ.
・吉田課長より, CS-XA ケーブルの開発に関する MPT との打合せ状況の報告あり (5 月 8 日).
・MPT よりの委託契約が, KDD, メーカーと共同になる点につき, メーカーは KDD による一括
受託を希望し, 契約形式が共同になっても, KDD を代表としてメーカーから KDD に委任し
て実行したいとのことで, N: 斎藤, 福井, 本郷氏, F: 三村氏来訪. 一応了承するが, なお,
社内で検討することとする.
・CS-XA ケーブルの開発 受託に関する, 社内処理は, 木村, 大島, 志村, 関係役員の協議に
より, 開発センターが行なうこととなり, 海建本部は協力することとなる.
・熊本県庁 島田, 林田両氏来訪, 夜, 接待 (渋谷, 佐賀).
- 14 日 (水) ・午前, 沖-比-香ケーブル, ロンドン会合出席者 打合せ.
志村, 亀田, 清水, 塚田, 石井, 松本(一), 織田, 松田 同席.
- 15 日 (木) ・ロンドン会合対処方針案文 作成 (塚田, 清水).
・メーカーと Tender Doc, 打合せ.
・CS-XA 方式開発に伴う, 工業所有権の取扱いについて, 社内協議.
社長室 主催, 海建本部, 法務室, 研究所 特許課, 開発センター技術担当.
・London 事ム所へ電話連絡. 15:00~.
・NEC 斎藤部長 来訪. OPH ケーブルの組織表持参.
・Tender Document Part 3 の KDD コメントにつき検討. (ケーブル, Rep. 関係).
- 16 日 (金) ・富士通 三村, 山口氏 来訪. 9:15~10:00.
西独-スエーデンケーブルに関する情報: FTZ より示された spec. の内容. ㊟.
布設は終わり, システム調整中, 6/25 開通予定.
デンマーク-ノルウェーケーブル引合中: 150km, 36M 1" ケーブルになりそう.
・OPH ケーブル Tender Document Part 3, 端局装置関係の KDD コメントにつき検討.
(10:30~11:30)
・織田部長と共に, 郵政省 電監室佐瀬参事官を訪問. 14:00~15:30.
日中専門家会議の報告, および, OPH ケーブルの London 会合開催について.
・OPH ケーブル London 会合の対処方針について, 増田常務へ説明, 後, 副社長の決裁を得る.
(16:20)
・NEC 斎藤部長ら 来訪.
志村取締役他関係者に, フィリピンへ輸出する場合の税金関係について説明あり.
・London 会合 出席者の打合せ.
- 17 日 (土) ・London 会合の準備.
- 18 日 東京空港発, London へ向う.
- 20 日 (火)~23 日 (金)

London にて, C&W, ETPI と調達関係の会合.

25 日 東京帰着.
(日)

26 日 午後より出社.
(月) ・技術部関係者に London 会合の状況, を説明.

27 日 ・午前, 建設部関係者に London 会合, の状況を説明.
(火) ・London 会合報告書の作成.
・吉田課長より, CS-XA 方式に関する MPT との打合せ状況, および苓北陸揚局の要員削減に伴う問題の今後の処理について社長室と打合せた状況の報告あり.

28 日 ・NEC に沖一比一香ケーブルの引合書を手交. (資材部, 海建本部) 14:00~15:30.
(水) ・NEC 田畑氏と, 上記に関し, 今後の技術関係の進め方を協議.
・竹内彦太郎氏の叙勲祝, 飯田橋会館. 18:30~20:00.

29 日 休暇. (休養).
(木)

30 日 ・OLH ケーブルの当面の作業計画につき, 松田, 石井両君に指示.
(金) ・OLH ケーブルの Tender Spec. の技術問題について, NEC (F, OCC) と打合せ, London 会合の状況説明と今後の進め方について.
・中国 SPT より, 次回技術専門家会合につき, 7 月上旬, 約 10 日間で東京開催に同意する旨の来電.
・株主総会.
社長交替, 技師長が置かれる.

31 日 技術課レク旅行 (山中湖) に参加.
(土)

6 月

2 日 ・建設保守協定 (沖一比一香ケーブル) の作成を今後, どの様に進めるかにつき, 志村取締役,
(月) 織田部長, 塚田課長, 亀田, で協議. (10:00~12:00).

3 日 ・研究所にて, 所長, 副所長, 鍛冶, 師岡次長, 中井, 山村室長, と打合せ. (13:30~17:00).
(火) 海建本部, 亀田, 松田, 吉田, 永田, 阿部.
(1) 沖一比一香ケーブルのこれまでの経緯説明.
(2) これに対する研究所の協力.
・CS-12M はまだ開発段階なので, 開発センターに了解を求める.
・専門家の協力は, 研究所に依頼するか, 開発センターの作業班として協力してもらうか.
(3) 海建本部, 開発センター, 研究所間で話し合い, 志村取締役から大島常務にも話してもらう.

4 日 ・会長, 社長の就任あいさつ. (10:00~10:30).
(水) ・建設保守協定 (沖一比一香) の作成に関する, 関係部門間打合せ (国際部 主催).
問題点を各部にわりふる, 6 月 20 日まで回答する.
・上記の件, および, 技術会議の準備について, 技術部内で打合せ (15:00~16:00).
・開発センターに, 協力関係の協議: (和田部長出張中, 宮原次長, 和田部長に再度話す).
・斎藤二郎氏と懇談.

- 5 日 (木) ・役員会に、O-L-H, ロンドン会合 報告.
・O-L-H 関係, 本部技術関係者打合せ.
・技術会議の準備, 当面の作業計画など.
- 6 日 (金) ・NEC 斎藤部長, 田畑氏他と, O-L-H Tender Document の質問事項につき打合せ (資材部, 業ム部, 技術部). 10:00~11:30.
・CW より TLX, 技術会議の出席者名と来日予定の通知あり.
・London 事ム所に Tell, 技術会議の Agenda について, Mr. Powell の意見ききたし.
- 7 日 (土) ・出社, 整理.
・WC Mr. Slade より, 志村取締役あて, 回線関係の提案の TLX 来る.
- 9 日 (月) ・志村取締りに報告.
1. CW よりの来電 (回線関係).
2. 沖ー比ー香ケーブル技術会議の Agenda と対処方針案.
3. 研究所専門家の協力.
・開セ, 和田部長に, CS-12M の開発成果の利用と, 専門家の協力を得る方法について協議.
・必要な専門家を兼務とするのが良いが, それでなければ, 研究所に直接依頼でなく, 開発センター作業班に, 開発を促進するよう依頼して専門家を協力させることが好ましい, との意見を得る.
・志村取締役より.
1. 技術会議の Agenda が CW より来たら, それにより方針的なものがあると判断されれば, 役員会に審議としてかける, ないようなら, 報告として, 会議の性格, 内容を役員会で説明することが望ましいとの, 副社長の意見とのこと.
後者の場合は, 社長室に相談すること.
2. 技術協力の問題は, 技師長に諮ったところ, 開発センターに建設業務を協力依頼するのは不適當と思われるとの意見があった.
*これに対し, 和田部長の意見を述べたところ.
(1) 兼務が研究所, 開発センターとも最適と云うのであれば, その候補者を選定し, その線を押す.
(2) 開発センターには, 仕様書の早期作成方を依頼する.
ことで, なお検討の指示あり.
・郵政省電監室に ロンドン会合の報告を清水次長と行なう.
- 10 日 (火) ・吉田課長に, O-L-H ケーブル技術小委員会の開催について役員会に報告の形であげることにつき, 社長室 (総務課) に協議してもらう.
その結果, この種のもの (周知的性格) を報告として役員会にあげるのは好ましくない, 対処方針は社長決定になるので, これが役員会審議の必要なしと, 社長が判断すれば, 事案決定の処理でよい, その了承を社長まで伺って処置されたいとのこと.
・以上の点を志村取締りに報告し, CW から Agenda が来てから, 社長に, 事案決定ですませることの了承を伺うこととする.
・吉田課長と, 研究所への協力依頼問題につき協議.
・健康診断.
- 11 日 (水) ・開発センター和田部長と技術協力問題を協議.
海建本部としては, 研究所の専門家を移籍または兼務することを筋として押してみる, 開発センターへの開発促進については, これと並行して, 必要事項について依頼する.
・CW より O-L-H ケーブル回線を当初は 4kHz で使用する提案あり, 総企室で検討中とのこと, 塚田課長と協議し, 必要あれば, 来週の技術会議で討議の場をつくる, こととする.

- 12 日 ・ 木村技師長に KDD/CW/ETPI 技術会議におけるあいさつ文案を届ける。
(木) ・ 技術会議の準備を進める.
- 13 日 ・ 技術会議（沖－比－香ケーブル）対処方針事案決定。
(金) ・ NEC 斎藤、田畑氏来訪：端局関係で装置の二重化、監視装置の複雑化など CS-12M 方式の標準方式では、価額が高くなる、NEC の簡略化案を出したいが、どうするか：NEC 案をオプションで出すよう指示。
 ・ 0-L-H 技術会議の準備打合せ：15:00～18:00。
 ・ (海) 技術課、線口課、施設課.
- 14 日 ・ 0LH 技術会議の準備。
(土)
- 15 日 Mr. Powell, Mr. Bird を羽田に出迎え。 午前。
(日) Mr. Histed, Mr. Hinchcliffe を羽田に出迎え。 午後.
- 16 日(月)～20 日(金)
 沖－比－香ケーブル 第1回技術小委員会 東京会合 開催
 16 日、夜、木村技師長 招宴。
 18 日夜、副社長招宴.
- 21 日 ・ Mr. Chan を除く、CW, ETPI の代表 5 名を二宮、箱根に案内。
(土) ・ Messrs. Powell, Bird 夜 羽田発。
 ・ 松田次長に代理で、要員問題につき、職員部長と話し合うよう指示.
- 22 日 ・ Messrs. Histed, Hinchcliffe を 羽田に見送り。
(日)
- 23 日 ・ 志村取締役が技術小委員会の報告。
(月) ・ 午後の経営合理化委員会にて、職員部より要員関係の資料があるので、沖－比－香ケーブル計画の進展に伴う海建本部の要員増につき、志村取締役のもとで、協議：委員会で審議の結果、4 名増が認められたとのこと、また、苓北の要員、保守態勢について、25 日、技師長、技術役員が協議するので、その資料を作成するよう指示あり。
 ・ 業務部に、技術小委員会の結果を説明.
- 24 日 ・ 富士通より、西独－スエーデンケーブルの布設状況の報告あり。10:00～12:00。
(火) ・ NEC 斎藤、田畑両氏の来訪を求め、CW, ETPI との協議状況を説明。
 ・ 苓北の保守要員に関する問題の資料作成。(松田次長).
- 25 日 ・ 沖－比－香ケーブル建設保守協定に関する東京会合の打合せ。(国際部 主催)。
(水) 10:00～12:00。
 ・ 午後、技師長、技術役員会議にて、苓北の要員問題が協議され、保全部、回統部で、この問題を検討することになったとのこと.
- 26 日 ・ 資材部長らと、0-L-H ケーブルの調達問題について協議。
(木) 今度の発注は、ETPI が発注者となるので、資材部が発注業務を行なうことはない、そこで、資材関係の専門家として、海建本部が CW, ETPI と接衝するとき、協力をする立場でよいということ合意。
 ・ 0LH、技術会議の役員会報告を作成。
 ・ 新海底同軸ケーブルの開発委託につき、役員会審議（開セ）.

- 27 日 ・埋設部会. (9:30～11:00).
(金) ・OLH, 東京会合 打合せ (国際部主催). 14:00～16:30.
 1. 7月7日～9日の会合対処方針の検討.
 2. 会合の進め方.
 ・日中ケーブル 中国検査班 来日.
 ・松田次長より電話連絡あり, 中国側は, 直ぐに KDD と検査関係の協議を行ないたいとのこと. 明日 日程等をホテルで協議するよう指示.

28 日(土)～29 日(日)
線路課レク旅行: 伊豆下田.

- 30 日 ・中国検査班 KDD 来訪, 表敬後, KDD, SPT 間 打合せ.
(月) ・CS-XA 開発会議, 推進連絡会 合同会議に出席. (郵政省主催). 14:00～15:00.
 ・中国検査班許団長と, 次回技術専門家会議の開催時期につき, 協議.
 ・中国検査班に対する 技師長 招宴.